

「保護者ポータル」⇒「その他」⇒「配布資料」⇒「ICT 研修会資料」

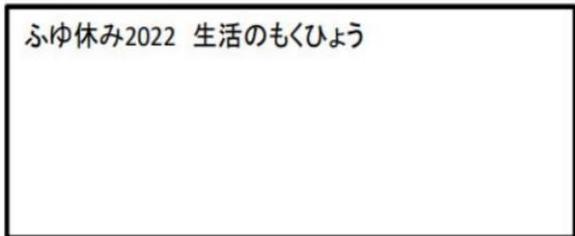
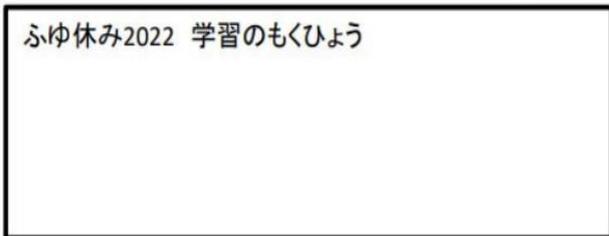
また、懇談会ではマイクロステップの使用状況や冬休みの課題についての説明も行いました。

マイクロステップについては、毎朝8：55～9：00の5分間を使って全クラスで実施しています。

しかし、測定値を出すために必要な学習量に到達できていなかったり、最後のデータを送信する部分でうまくいっていないケースもあるようで、一部のお子さんには結果のシートが今回返りませんでした。

ルートによっては、バスの到着が8：55にそもそも間に合わないことがあったり、朝、他の準備をしている間にマイクロステップまで到達できない状況もあったので、今回結果のシートが返らなかったお子さんについては、第4クォーターで個別に声をかけ続けていく予定です。

また、冬休みの宿題についての説明も、ここでも改めて紹介します。

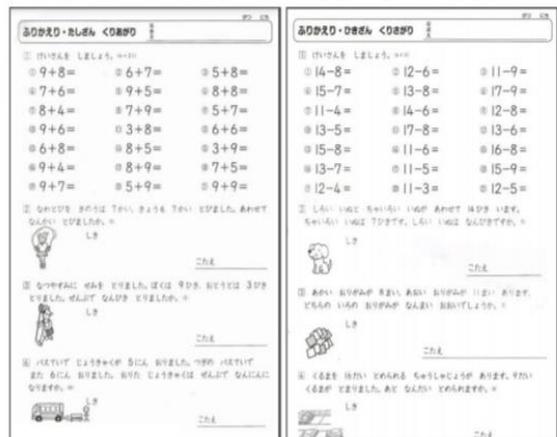
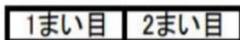


《しゅくだい》(できたところに色をぬろう。)

- ① ひらがなカタカナのふくしゅう (ドリルP6～P26)



- ② さんすうプリント 2まい



「もくひょう」はすでに、学校で記入が済んでいます。

学習の目標、生活の目標と合わせて、一度見ていただければ幸いです。

そして、目標に向けて自分で進んで動く姿が見られた時には、ぜひひと声「がんばっているね」「かっこいいね」と声をかけて賞えればと思います。

ひらがなとカタカナの復習や算数のプリントについては、記載にある通り、出来た分については色を塗っていく仕組みとなっています。

進捗が視覚化されることも、一つの動機付けとなるので、コツコツと進む姿を見守っていただければと思います。

③ あのねちょう 2回いじょう **1かい目 2かい目**

④ Phonics Group 3 and 4 Review **Group3 Group4**

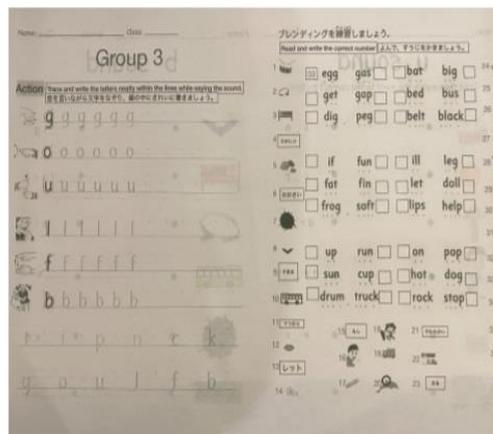
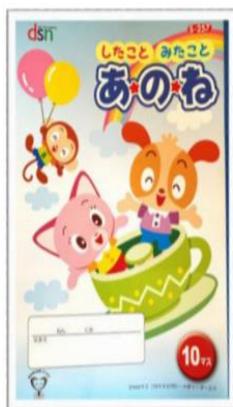
⑤ Kids A-Zを10分いじょう(Listen きく、Readよむ、Recordろくおん)
(できた日color in the box)

12月												1月								
24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9				

⑥ キュビナを10分いじょう
(できた日に色をぬる)

12月												1月								
24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9				

とくに、さんすうは「1年生のひきさん」まではおわらせることがもくひょうです



あのねちょうと、フォニクスについても、同様です。

進んだ分だけ色を塗るのと、特にあのねちょうについては、三回目・四回目とさらに書き進む様子があった場合は、欄を増やしていただいて構いません。

「KidsA-Z」と「キュビナ」については、アイパッドで行う学習アプリのことです。

どちらも、10分以上できた日に色を塗らせてあげてください。

もちろん、年末年始等で実施できない日があることも十分考えられますので、可能な限りの実施で構いません。(尚、進み具合については、担任団でも把握しています)

- ⑦ 本をよむ
(1さつよめたら1つ色をぬる)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

※とくにこころにのこった本のタイトルをかこう

- ⑧ iPadのつかい方について、お家の
人とそうだんをする

そうだんしました

- ⑨ おてつだい(できた日に色をぬる)

「かぞくにこにこだいさくせんカード」にかこう!

--

をがんばります!!

表: 日本語ver. 裏: 英語ver.
どちらか片方の記入でOK.

ふゆ休み 学習(がくしゅう)のふりかえり
(100てん中の_____てん)

ふゆ休み 生活のふりかえり
(100てん中の_____てん)

読書については、これもどれだけ読むことができたかを記録していく方式です。もし10冊以上読めたという場合は、欄を書き足してください。

iPadの使い方の相談は、今回の懇談会での内容を受けて、今一度ご家庭での使い方や、学校での使い方について話し合う時間をとっていただければと思います。

お手伝いについては、別紙の「かぞくにこにこだいさくせんカード」に記入させてあげてください。

そして、最終日に最後の「ふりかえり」を書いて、学校に持たせていただければと思います。(ご不明なことがありましたら、いつでも気軽にご連絡ください)

それでは、改めて第3クォーターの間も、大変お世話になりました。

以前もコスモスハーモニーでお伝えしたように、人は、なかなか自分の成長や変化には気付けないといえます。

成長や変化は常にゆったりとしたスピードで進むため、ともすれば何も変わっていないように感じることも少なくありません。

また、周りの人と自分の姿を見比べる「横のものさし」ばかり見ていると、自分がまるで成長していないという錯覚に陥ってしまうことすらあります。

〇〇くんに比べて、ぼくはまだまだだなあ。

一所懸命やったけど、〇〇さんとは全然違う。

多くの場合、人はこのように横のものさしの方を見てしまいがちです。

が、そればかりを見て後ろ向きになってしまうことは、自分の可能性にフタをする事にもつながります。

ですから、特に大切なのは、縦のものさしで自分の姿を振り返ることです。

縦のものさしとは、他人との比較ではなく、過去の自分との比較です。

繰り返しますが、成長や変化はゆったりとしたスピードで進むため、ともしれば何も変わっていないようにも感じるからです。

その時に、重要なのは周りからの“声かけ”だといいます。

変化は、自分より周りの方が往々にしてよく分かります。

以前読んだ本の中に「子どもへかける大切な言葉」という項がありました。

その中で、「最も大切な言葉」として紹介されていたものがあります。

簡単でシンプルな言葉ですが、私は読んで妙に納得させられました。

それが、「成長したね」という一言です。

「すごいね」「がんばったね」という、その瞬間瞬間を切り取った褒め言葉も一定の意味はある。しかし、一番大切なのは、その子の変化や成長を認めてあげる「成長したね」という一言なのだといいます。

今学期も、様々な場面で子どもたちが逞しく成長する姿を見てきました。

伸びていない子は一人もいません。

少なくとも、私の目にはそう映ります。

学校で持てる熱量は存分に出し切りました。

自分の苦手なことにも果敢にチャレンジしました。

個人・クラス共に、できないことがたくさん出来るようになりました。

たくさん成長場面があったからこそ、子どもたちはお家の方々からの「成長したね」という言葉を待っているのではないかとも思います。

探究やプロジェクトの発表の際も、お家の方々温かく見守って下さる中で子どもたちが大いに奮起し「がんばろう！」とギアが入る瞬間を幾度となく目にしたからです。

それほど、身近な大人からの一言が与える影響は大きいのだと思います。
長丁場の第3クォーターを走り切った頑張りを認めつつ、どこかのチャンスで「成長したね」とひと声かけていただければ幸いです。

それでは、改めて2022の間も大変お世話になりました。

また、学年通信コスモスハーモニーにもお付き合いいただき、誠にありがとうございました。

お家の方からいただくたくさんのお声に何度も勇気づけられながら、ここまで書き続けることができました。

今年はひとまず107号で歩みを休め、2023からまたポチポチと進んでまいりたいと思います。

それではみなさん、どうぞよいお年をお迎えください。(渡辺道治)